

令和5年度府中市立小柳小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

1 現状及び課題等

(1) 学習改善の視点（児童の学び方）

・「どうやったらうまくいかを考えてから学習を始めるようにしている。」という質問に対して「どちらかという当てはまる」や「どちらかといえば当てはまらない」と回答する児童の割合が多い。
 ・「学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫している。」という質問に対して「どちらかという当てはまる」や「どちらかといえば当てはまらない」と回答する児童の割合が多い。
 ・国語や算数についての学力調査では、市・都・全国に比べて無回答の児童の割合が多い。（途中での挫折だけでなく、設問に最後までたどり着いていない児童も多い）

(2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

・単元全体の見通しや、一単位時間内の見通しを児童自身に十分にもたせられていない。
 ・自らの問題解決に向けてトライ＆エラーを繰り返すような、問題解決型の授業が少ない
 ・語彙や用語の意味理解を深める機会が十分ではない。また、長文を確実に素早く読んで理解していけるようになるための、練習の機会が少ない。

2 学校全体で目指す授業像

(1) 目指す児童の学びの姿

・学習内容の見通しをもち、どのようにして問題を解決すればよいかをイメージしながら学習に臨む児童。
 ・学習をしてもできるようにならないときは、学習の方法を工夫する等、自己の学習方法を振り返り、調整しながら粘り強く学ぼうとする児童。
 ・知り得た情報をもとに自分の考えを表現したり、他者と情報を共有する中でよりよい考えを創り出したりしていく児童。
 ・語彙や用語の意味を正確に理解するとともに、長文をスムーズに読み進めることができる児童。

(2) 目指す授業像

・児童に学習に見通しをもたせ、児童が主体的に学習に臨む授業。
 ・トライ＆エラーを繰り返しつつ児童が自己調整しながら問題を解決したり、資質や能力を身に付けたりする授業。
 ・読み取ったことを要約したり、小見出しを作ったりして、要点をまとめる授業。まとめたことを他者に伝えたり共有したりして、考えを広げたり深めたりする授業。
 ・語彙を丁寧に押さえ、内容を正確に理解させる授業。
 ・つまづいている児童に対し個別の支援を繰り返し、「できた」「分かった」を実感させられる授業。

3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

(1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

国語	・語彙力を高める学習を確実に行う。 ・「読むこと」において、精読をさせて理解を深めさせると共に、内容を短くまとめ直したり、自分の考えを再構築したりさせる。また、互いの考えを交流し、対話的に読みを深めさせる。	音楽	・既習事項の活用などを繰り返しながら、音楽表現の基礎的な技能の定着を図る。 ・友達の演奏のよいところを見付けたり、意見を交流したりしながら、音楽表現を考え、個人や全体の表現に生かしていくことができるようにする。
算数	・授業初めに計算問題や用語の確認を行い、基礎基本の定着を図る。 ・問題解決に向けて自己の考えを図や式にして表現させたり、他者との対話の中で、自己の考えを広げたり深めたりさせる。	図画工作	・道具の正しい使い方を確認して、基礎の定着を図るとともに、児童の創意工夫を生かしながら主体的に学習に取り組むことができるようにする。 ・鑑賞の活動を取り入れて、学び合いの時間を確保する。
社会	・基礎的な知識について繰り返し指導し、定着を図る。 ・児童の疑問点などをもとに、問題解決に向けた探究活動を主とした授業展開を行う。 ・学習したことをもとに自分の考えを再構築させ、新聞形式などでまとめさせたり、発表させたりする。	家庭	・実際の生活の場面を想起させ、児童が主体的に住居・衣服・調理に関する問題を解決したり、知識や技術を身に付けたりできるようにする。 ・学習したことを捉え直したり、考えを交流させたりする中でよりよく生活するための工夫についての考えを深めさせる。
理科	・基礎的な知識について繰り返し指導し、定着を図る。 ・予想をもとに、調べる方法を他の条件の制御と合わせて発想し、問題解決をさせていく。 ・問題解決の過程や学習内容についての考察を、自分の言葉でノートなどに表現させる。	体育	・課題解決に向けて自身の能力や体の状態に合わせてどのように体を使うとよいか考えさせる。 ・自分の動き方を映像で確認させるなどして、分析や改善に向けての見通しをもたせる。
生活	・児童の疑問や気付きをもとに課題を設定し、学習を進める。 ・自分が体験したこと、学んだこと、気付いたことを伝え合う機会を設ける。	外国語	・大文字、小文字の書き分けなど、基本的な事項を着実に押さえるとともに、語彙の意味理解を深め、主体的に表現したり、コミュニケーションしたりする機会を設ける。 ・授業の中で英語を使って対話する場面を設定し、どのように表現したらよいか解決できるか試行錯誤させながら英語を使わせるようにする。

(2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

・既習事項の振り返りの場面などで、eライブラリ等を活用して繰り返し補充問題に取り組ませる。
 ・問題解決のために、テーマに沿った内容をインターネットで検索する。
 ・互いの考えをジャムボードなどで交流する。 ・スライドなどに自分の調べた内容についてまとめる。